

小学生動画発表会について

日時：10月24日（木）16:00～16:30

場所：メガウェブトヨタシティショーケース メインステージ

主催：東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局

共催：オリンピック・パラリンピック等経済界協議会

目的：カウントダウンショーケースでは例年被災3県の子供達を招待。

今年は被災3県の「復興ありがとう HT」「共生社会 HT」の子供達を招待し、HT 相手国とのこれまでの交流の様子をまとめた動画を制作、発表して頂いた。

来賓：橋本聖子 オリンピック・パラリンピック担当大臣

栗山浩樹 オリンピック・パラリンピック等経済界協議会 座長

アリ大使 在京ジブチ共和国大使

ゲスト：・岩手県遠野市立青笹小学校 6年生 17名（共生社会 HT：ブラジル）

・宮城県加美町立鹿原小学校 6年生 7名（復興ありがとう HT：チリ）

・福島県南相馬市大甕サッカースポーツ少年団・鹿島 SC スポーツ少年団 16名
（復興ありがとう HT：ジブチ、台湾、米国、韓国）

※福島県二戸市御返地小学校（復興ありがとう HT：ガボン）は、学校行事で欠席。

- 内容：1) 3団体制作の動画発表
2) 記念品手交、写真撮影
3) 橋本大臣と各団体の代表児童によるトークセッション



東北ニュース

全国・海外ニュース

スポーツ

震災・防災

トップ > 東北ニュース > 記事

広域のニュース

広域 社会

ツイート シェア

五輪ホストタウン事業 東北3県の児童が交流動画

2020年東京五輪・パラリンピックでホストタウン事業に参加する遠野市と南相馬市、宮城県加美町の小学生が24日、東京・青海のイベント広場で相手国との交流の様子を収めた動画を披露した。

「共生社会ホストタウン」の遠野市は青笹小の6年生17人が参加。パラリンピックの視覚障害者らによる5人制サッカーのブラジル代表が7月に強化合宿に来た際、郷土芸能の青笹しし踊りを一緒に体験した様子を紹介した。

南相馬市と加美町は「復興ありがとうホストタウン」。南相馬市からは大甕（おおみか）サッカースポーツ少年団、鹿島SCスポーツ少年団の4～6年生16人が登場。昨年夏、アフリカ北東部のジブチの中学生とサッカーを楽しんだ。



加美町鹿原小の（右から）島山歩君、島山一葉君ら映像発表に参加した児童たち

拡大写真